



# 仏教学

※【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

## 1. 仏教学とは

仏教について研究する学問。仏教とは、釈迦の説いた仏となるための教え。キリスト教、イスラム教とともに世界三大宗教のひとつ。人生は苦であるというところから出発し、八正道の実践により解脱して涅槃に至ることを解く。前5世紀、インドのガンジス川中流に起こって広まり、のち、部派仏教（小乗仏教）・大乘仏教として発展、アジアに普及した。日本には6世紀に伝来。多くの学派、宗派がある。

（『日本国語大辞典』、『大辞泉』より引用）

## 2. 分類（NDC9版）

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野
180	仏教
181	仏教教理・仏教哲学
182	仏教史
183	経典
184	法話・説教集

分類番号	分野
185	寺院・僧職
186	仏会
187	布教・伝道
188	各宗

## 3. 辞典・事典

『図説佛教語大辞典』【180.3/N 37 品川 2F 参考図書】

中村元編著，東京書籍，1988

各語句に関連する図や写真が多く掲載されている。従来紹介されていなかった貴重な資料を豊富に収録するとともに、数で表現されることばを分類図的にわかりやすく示していることが特徴である。\*50音順

『岩波仏教辞典』第2版【180.3/N 37 品川 2F 参考図書】

中村元 [ほか] 編，岩波書店，2002

仏教用語を中心に、文学・歴史・民俗・法事・行事・美術・人名等が広範囲にまとめられている。思想としての仏教を広い視野から展望し、多面的な角度から解説した1冊となっている。\*50音順

『仏教を知る本 ①人と歴史 人物，仏教史』【180.3/N 71/1 品川 2F 参考図書】

日外アソシエーツ株式会社編，日外アソシエーツ，2009

人物やキーワードによって、仏教に関わった人物や仏教の歴史についての資料を探することができる参考図書リスト。129のテーマを設け、それぞれに適した参考資料が挙げられている。人物の詳細な解説と関連する資料が網羅されている。同シリーズには他に「②思想と仏典」「③仏教のかたち」がある。

\*分野ごとに50音順

## 4. 入門書

『図解雑学 仏教』【180/H 72 品川 1F 図書】

廣澤隆之著，ナツメ社，2002

仏教学を勉強するためにはまず仏教について知らなければならない。左ページは文章による説明、右ページは図解という仕様になっているため、初学者でも簡単に仏教の基本をさらうことができる。



## 『仏教要語の基礎知識』新版【181/Mi96 品川 1F 図書】

水野弘元著, 春秋社, 2006

仏教を学ぶ上で、基礎的で重要な「要語」についてまとめられている。仏教の定義分類から、四諦説、煩惱論などが収められている。また、特に重要な用語は太字で表され、仏教の特殊な難読字にルビが振られているなど、入門書として読みやすい。

## 『ビジネスマンに語る大乘仏教の現代的思考法』 【181.02/I 92 品川 1F 図書】

岩立正文著, CREATE AI, 2014

法華経を含む大乘仏教の教えの基盤を形成する考え方と思考法を基礎から解説した1冊。現代社会を生きる上で必ず意味を成すような内容を数多く掲載しており、インターネット上でも常時閲覧が可能である。

## 『仏教史研究ハンドブック』 【182/B 87 品川 2F 学修支援(仏教)/品川 1F 図書】

佛教史学会編, 法蔵館, 2017

インド、アジア諸国、中国、朝鮮半島、日本の仏教の概要とその歴史について学ぶことができる。主題ごとに参考文献が載せられているほか、その主題の研究動向や課題と展望も掲載されており、論文を書く際の手掛かりになる。また、巻末には「インド・チベット・中央アジア」「スリランカ・東南アジア」「中国・朝鮮半島」「日本」の仏教史年表が掲載されている。

## 5. 雑誌

## 『法華文化研究』 【R-1/64 品川 B3 紀要(新刊は3F 立正大学紀要コーナー)】

立正大学法華経文化研究所

法華経およびそれに関連する文化の基礎的研究を行う法華経文化研究所の顧問および所員、特別所員、研究員の研究論文・資料等が掲載されている。年刊。

## 『大法輪』 【180.5/20 品川 B3 雑誌(新刊は3F 開架雑誌コーナー)】

大法輪閣

特定の宗派に偏らない総合仏教雑誌。専門的内容から、はじめて仏教を学ぶ人のための入門的内容まで掲載している。月刊。

## 『佛教藝術』 【180.5/7 品川 B3 雑誌(新刊は3F 開架雑誌コーナー)】

佛教藝術学会, 毎日新聞社

日本美術の根源とされる仏教美術を中心に、彫刻、建築、絵画などを含めた東洋美術および仏教考古学に関する学術論文を掲載している。隔月刊。

## 6. インターネット(学会サイト等)

『日本印度学仏教学会』 <http://www.jaibs.jp/>

インド学、仏教を研究する人や機関により構成される全国学会。学会紀要『印度学仏教学研究』を年2回発行している。HP内では、主に日本国内のインド学、仏教学に関する論文の書誌情報およびキーワードを収録した「インド学仏教学論文データベース(INBUDS) <http://www.inbuds.net/jpn/>」などのデータベースが利用できる。

『日本佛教学会』 <http://nbra.jp/>

仏教研究を主目的とする大学および短期大学や研究教育機関によって構成されている学会。年1回開催の学術大会で発表された論文を掲載した『日本佛教学會年報』を刊行している。HP内では、過去7年間の学術大会の詳細やレジュメ、1997年度以降の『日本佛教学會年報』の一部詳細や掲載された論文を読むことができる。